

ナビ側のみの配線作業で取り付けも簡単

最近流行りのダブルカメラのドラレコを導入したいけれど、配線作業が面倒……。確かにドライブレコーダー本体の取り付けは比較的簡単だが、ダブルカメラの場合、運転席からリア用カメラへの配線アクセスに手間取るというウィークポイントがあり、躊躇している人もいます。

そこでオススメしたいのが、すでに装着されているバックカメラを活用して、後方視界線のドライブレコーダーを設置するという方法だ。

辰巳屋興業の「リアビューカメラレコーダー SR-SD01/SR-SD02」は、既存のバックカメラの配線に割り込ませることで、



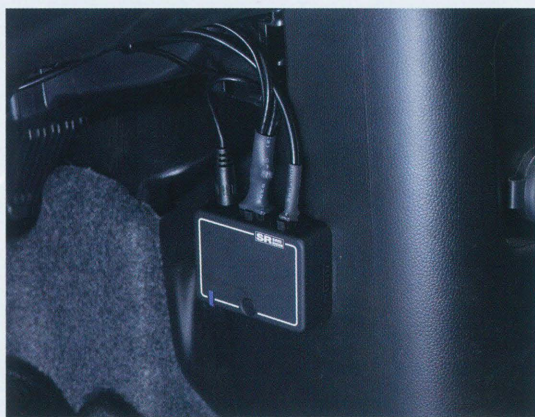
ほとんどのバックカメラに対応できる2タイプ

SR セーフティシステム
リアビューカメラ・レコーダー
SR-SD01/SR-SD02
価格：オープン（実勢価格：各1万3000円前後）

クルマに装着済みのバックカメラを活用して後方映像を録画する、新スタイルのドライブレコーダー。トヨタ・ダイハツ車などに対応する4ピンタイプの『SD01』と、汎用RCA端子の『SD02』の2モデル。キットには8GB MicroSDカードと後方ドラレコ搭載ステッカーも付属。

後方映像を常時録画できるといって、これまでにないスタイルのドライブレコーダー。取り付け作業はナビなどからのバックカメラ映像入力端子に割り込ませて、電源を確保するだけなので、面倒なリアカメラの取り付けや天井や床を這わす配線作業はまったく必要ないのだ。もちろん、バックカメラとしての機能はそのまま、バックギヤを入れれば、従来通りの映像がモニター画面に表示される。また、録画できる範囲や解像度、画質は装着済みのバックカメラに依存するものの、カメラや液晶モニターがない分、価格も低く抑えられるのだ。すでにフロント用ドラレコを装着しているクルマにはうってつけのアイテムといえよう。

ドラレコ本体は縦62×横46mmというコンパクトサイズ。車内の目立たない場所に設置できる。



残しておきたいシーンで付属スイッチを押すと、押した前後の計3ファイルを上書き禁止でマニュアル録画。映像データは別のフォルダに収納される。



バックカメラは純正にも後付けにも対応。特殊な端子でも、市販の変換アダプタでRCA端子に変換できれば取り付けられる。

「装着済みの
リアカメラも
有効活用」

バックカメラの機能はそのままに **GPS付き**
ドラレコに大変身!



バックカメラの性能が良ければ、夜間でもクッキリと後方を映し出せる。



オプションで「GPSセンサー」（実勢価格：4200円前後）も用意。映像データに位置情報を追加でき、内蔵時計も自動修正してくれる。